

平成27年～令和元年の9～11月(秋山)における山岳遭難事故発生場所

<秋季ハケ岳 7 件の死亡事故のうち、主な死亡原因は発病と滑落です！>

○「適正な登山計画づくり」、「体調がすぐれないときに無理をしない」等の取組で事故を防ぎましょう。

○特に頂上付近での滑落は生死にかかわるため、十分気を付けましょう。

<台風や寒冷前線の動向に注意し、防寒対策をしっかりと！>

○登山には適した気候ですが、台風の接近や寒冷前線の通過時には天気が崩れ、強風が吹き荒れるため注意が必要です。また、頂上付近は冷え込むため、防寒対策をしっかりとしましょう。

<転落、スリップ、落石に注意>

○横岳、赤岳、阿弥陀岳稜線、地藏尾根の各岩場、県界尾根の大天狗～赤岳及び赤岳天望荘への回り道、大同心・小同心、文三郎新道はしご場上部～赤岳頂上直下は転落に注意しましょう。南ハケ岳一帯は岩質がもろいため、落石・浮石にも注意してください。

北ハケ岳では発病や転倒事故に注意



【蓼科山】 宿泊中に発病、死亡（1件）
疲労により行動不能（1件）

【亀甲池】 疲労により行動不能（1件）

【北横岳】 山小屋で滞在中に発病（1件）



